

## 水産物の放射線量測定結果

女川町では、女川魚市場に水揚げされた水産物について、宮城県から支給された簡易測定器及び東北大学から提供された連続個別非破壊放射能システム等を使用し、放射線量の測定を実施しています。

平成 26 年 6 月 2 日から 6 月 30 日までの測定結果は、下記のとおりでした。

- ◎測定結果：全てにおいて、厚生労働省が定める一般食品の基準値 100 ベクレル/kgを下回りました。(検体全て測定下限値以下・不検出)
- ◎検体数： ギンザケ 216、ヒラメ 18、マガレイ 5、ケムシカジカ 2、ホンダガレイ 1、アブラガレイ 5、ドンコ 2、スケソウダラ 6、マコガレイ 7、アイナメ 10、メジマグロ 4、マサバ 7、サワラ 2、ポンタラ 3、スズキ 5、ワラサ 5、ミズガレイ 3、冷凍カツオ 2、マダラ 15、ハダガレイ 1、イシガレイ 2、コモンカスベ 4、コウナゴ 2、クロソイ 1、マイカ 10、セグロイワシ 10、タナゴ 1、アナゴ 1、カナガシラ 4、ゴマサバ 6、メロード 1、アカガレイ 1、コサバ 1、冷凍ビンチョウ 1 (34 種類 364 検体)
- ◎測定機器：EMF ジャパン(株) ガンマ線スペクトロメータ (EMF 211 型)  
東北大学 連続個別非破壊放射能システム A01 型  
東北大学 非破壊式食品放射能測定装置